

第3学年国語科学習指導案

指導者 教育センター所員 長尾 真司

単元名 お祭りガイドブックをつくろう

教材名 「つな引きのお祭り」 (東京書籍3年下)

【授業について】

本単元は、従来の説明文教材の読み取りの授業とは形態を異にしている。「はじめ」「中」「終わり」の段落構成をとらえさせ、段落のつながりを考えさせる授業ではない。本単元では、教材文「つな引きのお祭り」を一つの資料として扱い、情報を取り出し方を学ばせる。児童は、「お祭りガイドブック」を作って紹介するという目的で教材文を読む。ガイドブックで紹介するという目的を設定した場合、教材文の読み取りは、ガイドブックに何を書くかということを決定するための参考資料となる。児童は、教材文でガイドブックにふさわしい紹介の仕方を学び、学んだ紹介の仕方を、自分が選んだお祭りを調べ、ガイドブックを作る時の視点として生かしていく。ここで学んだ紹介の仕方は、国語科はもちろん、他教科等でも使える力となると考える。

1 単元について

(1) 児童観

この時期の児童は、「ビーバーの大工事」(2年下)でクイズ作りを通して、好きな動物について本で調べ、その中から動物のひみつを抜き出す学習を経験している。さらに、「自然のかくし絵」(3年上)では、「はじめ」「中」「終わり」などの大まかな段落の構成について学習してきている。また、紹介する言語活動としては、カードに書いて発表したり、紹介したりする活動、好きな季節を選んで思い出ブックを作って紹介する活動などを経験している。

本学級の児童は、読書に対する関心は高く、学校図書館の利用頻度も高い。読んでいる本は、物語や図鑑が多いが、目的に応じて読むことについては経験が少ない。また、調べたことや自分の考えを書いて表現することについて、苦手意識をもっている子もいる。したがって、書く目的や視点を明確にした指導が必要であると考えられる。

(2) 教材観

本単元は、ある事柄について書かれた本や資料を利用して、必要な資料を考えたり選んだりすることができるように設定する。教材文「つな引きのお祭り」は、日本各地のお祭りで行われているつな引きについて紹介した文章である。文章構成は、「はじめ」「中」「終わり」の構成を取っており、「中」の部分では3つのお祭りで行われているつな引きについて書かれている。「中」の紹介の仕方については、場所、日時、かかわる人、人々の願いについて共通して書かれており、情報を取り出す際の視点となりやすい教材であると考えられる。

(3) 指導観

指導に当たっては、記録や報告の文章、図鑑や事典などを読んで利用する言語活動(「読むこと」(2)イ)として、お祭りガイドブック作りを取り入れる。ガイドブックとは、手引書や旅行の案内書を示すものであるが、ここでは、児童にとって身近なお祭りについて調べたことをまとめた小冊子とする。導入の段階では、事前にとった児童が知っているお祭りについてのアンケート結果を基に、「みんなが知っているお祭りランキングクイズ」を行うことで身近なお祭りについて調べようとする意欲をもたせる。次に、調べたことをガイドブックにまとめさせ、学校に来たお客さんに紹介するという形式をとらせることで、児童の学習に目的意識と相手意識をもたせる。また、中身が書かれていないお祭りガイドブックをモデルとして提示することで、ガイドブックに書く内容はどんなものがよいのかという意識をもたせ、教材文を読み取る学習へと進めて行く。そこに児童にとって、教材文を読む必然性が生まれてくると考える。読み取る段階では、教材文の特性を踏まえ、「中」の部分に書かれている場所、日時、かかわる人、人々の願いとい

う情報を取り出すことを主たるねらいとする。身近なお祭りについて調べ、ガイドブックにまとめていく段階では、児童一人一人にガイドブックの1ページを担当させ、最終的には学級で1冊にガイドブックにまとめることで達成感を味わわせたい。取材をする際は、学校図書館にある本や資料を中心に情報の収集を行わせるが、必要に応じてインターネットからの情報や地域の方へのインタビューも収集の手段として取り入れたい。情報を収集する際には、教材文の読み取りの視点とした、場所、日時、つな引きの内容、人々のねがいに絞って収集させる。そうすることで、読み取ったことが書く活動に生かされ、必要に応じて情報を取り出す力がついていくと考える。

2 単元の目標

お祭りガイドブック作りを通して、お祭りについて紹介するために記録や報告の文章、図鑑や事典などを読み、必要な資料を考えたり、必要な情報を選んだりすることができる。

3 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	1 お祭りガイドブック作りに興味をもち、意欲的に学習しようとする。 2 自分の課題を解決するために、本や文章の選び方や利用の仕方を工夫しようとしている。
イ 書く能力	1 紹介する目的や、図鑑や小冊子といった紹介するための文章の種類に応じて、どのような資料が必要かを考えている。 【B書くこと(1)ア】
ウ 読む能力	1 自分の解決すべき課題に応じて、中心となる語や文をとらえて読んでいる。 【C読むこと(1)イ】 2 本の題名や種類に着目したり、索引を利用して検索したりして、必要な本や資料を読んでいる。 【C読むこと(1)カ】
エ 言語についての知識・理解・技能	1 理解するために必要な文字や語句について、国語辞典を利用して調べる方法を理解している。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(カ)】

4 指導と評価の計画（全10時間）

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価とその方法
一	1	○ 身近なお祭りについて興味をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> 事前アンケートの結果を基に作った「みんなが知っているお祭りランキングクイズ」を行うことを通して、身近なお祭りについて紹介したいという意欲をもたせる。 これまでに経験した言語活動を参考にしながら、学校に来たお客さんに紹介するためには、どんな形にまとめた方がいいのかを考えさせる。 	アー1 身近なお祭りについて興味をもち、学習に取り組もうとしている。 (観察)
	2	○ お祭りガイドブックを作って紹介するという学習課題をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> 旅行のガイドブックを提示することで活動の目標を意識させ、身近なお祭りについて調べ、お祭りガイドブックを作って紹介するという学習課題をもたせる。 	アー1 学習課題を決めるために、積極的に話し合いをしている。 (観察)
		○ ガイドブックに書く内容を考える。	<ul style="list-style-type: none"> 中が白紙のお祭りガイドブックをモデルとして提示し、学校に来たお客さんに身近なお祭りを紹介するにはどんな内容がいいのかを予 	イー1 相手や目的を意識して、どんな資料が必要かについて考えている。

	3	○ 教材文を読み，学習計画を立てる。	想させることで教材文を読む必然性をもたせる。 ・教材文「つな引きのお祭り」を読ませ，お祭りについて書かれていた段落をおさえ，お祭りガイドブックを作るまでの計画を考えさせる。	(ワークシートの記述及び観察) アー1 課題を解決するための計画を進んで話し合い，計画表に書いている。 (ワークシートの記述及び発言)
二	4	○ 教材文全体から，お祭りガイドブックを作るための参考となる部分を探す。	・ガイドブックを作るために，3つのつな引きについて説明された「中」の部分に着目させることで必要な情報を取り出しやすくする。	ウー1 段落の大まかな構成をとらえ，事例について書かれている部分がどこかを読み取っている。 (ワークシートの記述及び発言)
	5	○ 秋田のつな引きについて書かれた段落から，ガイドブックを作るために必要な部分を考える。	・初めに例示されている秋田のつな引きについて書かれている段落から，場所，日時，つな引きの内容について読み取らせる。	ウー1 事例について書かれている部分の中から，必要な情報を読み取っている。 (ワークシートの記述及び発言)
	6 (本時)	○ 前時に読み取ったことを基に，沖縄と鳥取のつな引きについて書かれた段落から，場所，日時，人々のねがいなど，共通する部分を読み取る。	・沖縄と鳥取のつな引きについて書かれた段落を比較させることで，場所，日時，つな引きの内容の他に，人々のねがいも共通する部分であることに気付かせる。	ウー1 事例について書かれている部分の中から，必要な情報を読み取っている。 (ワークシートの記述及び発言)
三	7	○ 必要な部分の取り出し方について確認し，お祭りガイドブックを作るための視点をもつ。 ○ 自分が選んだお祭りのガイドブックを作る計画を立て，取材の方法を確認する。	・お祭りなどのように行事的なものを紹介する場合，場所，日時，つな引きの内容，人々のねがいについて内容が必要になることを確認させる。 ・読み取った視点を基に，ガイドブックを作るために必要な材料を集める方法や作る手順を考え，計画を立てさせる。	アー2 自分で選んだお祭りについて調べ，ガイドブックを作る計画を意欲的に考えようとしている。 (ワークシートの記述及び観察)
四	8 (課外)	○ 自分が選んだお祭りについて調べるために，図鑑や事典など様々な分野の本を選んで読む。	・基本的に学校図書館を利用させるが，必要に応じてインターネットからの情報や地域の方へのインタビューも合わせて情報の収集をさせる。	ウー2 本の題名や種類に着目したり，索引を利用して検索したりして，必要な本や資料を読んでいる。 (ノートの記述及び観察)
		○ 自分が選んだお祭りについて調べるために，本や資料を調べたり，図鑑や事典など様々な分野の	・必要な情報を集める際には，「つな引きのお祭り」での学習を生かして，場合，場所，日時，つな引きの内容，人々のねがいの視点に	イー1 ガイドブックの内容にふさわしい情報として，どんな資料が必要かを考えている。

	<p>本を利用して必要な情報を集める。</p> <p>○ 情報を集める際は必要に応じて国語辞典を使って調べる。</p>	<p>沿って集めさせる。</p> <p>・意味の分からない言葉については、1学期に学習した国語辞典の使い方を想起させながら、調べさせる。</p>	<p>(ノートの記述及び発言)</p> <p>エー1 必要な文字や語句について、国語辞典を利用して調べる方法を理解している。</p> <p>(ノートの記述及び観察)</p>
9	<p>○ 集めた情報を基に、自分が担当するページを仕上げ、グループ内で交流する。</p>	<p>・それぞれの児童が担当したページの内容についての交流は、場合、場所、日時、つな引きの内容、人々のねがいが書かれているのかという視点で意見交換させる。</p>	<p>アー2 視点に沿って積極的に意見を述べようとしている。</p> <p>(観察)</p>
10	<p>○ 自分が担当するページを修正し、ガイドブックを完成させる。</p> <p>○ 単元の振り返りをする。</p>	<p>・グループでの意見交換を基に個人のページについては修正を行わせ、学級でまとめて1冊のガイドブックに仕上げることで達成感をもたせたい。</p> <p>・紹介したい内容や人に応じて、視点を絞って読んだり、表現の方法を工夫したりする必要性に気付かせたい。</p>	<p>アー1 友達と協力しながら意欲的にガイドブック作りに参加しようとしている。</p> <p>(観察)</p>

5 本時の計画（6／10）

(1) 目標

「秋田のつな引き」で考えた紹介する視点を基に、沖縄と鳥取のつな引きについて書かれた段落の中から紹介するために必要な部分を読み取ることができる。

(2) 展開

学習指導	指導上の留意点及び評価
<p>1 前時までの学習を振り返り、沖縄と鳥取のつな引きについて書かれた段落を読むことを確認し、本時のめあてをもつ。</p>	<p>○ 秋田のつな引きでの学習で「どんな祭りか、いつあるか、いつから始まったか、なんのためか」などについては、ガイドブックに書くために必要な情報であったことをおさえる。</p>
<p>何をしようか考えるのか考えよう。</p>	
<p>2 学習の見通しをもつ。</p>	<p>○ 「秋田のつな引き」で紹介されていたこと（どんな祭りか、いつあるか、いつから始まったか、なんのためか）を視点として、沖縄と鳥取のつな引きについて書かれた段落を読み、お祭りガイドブックの内容を考えるとという見通しをもたせる。</p>
<p>3 一人調べをして、2つのつな引きについて紹介された部分から必要な部分を抜き出す。</p>	<p>○ 秋田のつな引きについてガイドブックに書くために必要な情報（どんな祭りか、いつあるか、いつから始まったか、なんのためか）が、2つのつな引きについて紹介された部分に同じ情報が入っているかという視点で読ませる。</p>
<p>沖縄のつな引き ↓ 鳥取のつな引き</p>	<p>○ どんな祭りか、いつあるか、いつから始まったか、なんのためかについて抜き出すことができていない児童には、秋田のつな引きでの文章構成や文末表現などに着目させる。</p>
<p>【秋田のつな引きでの視点】 ・どんな祭りか ・いつあるか ・いつから始まったか ・なんのためか</p>	<p>○ 共通する部分であるどんな祭りか、いつあるか、いつから始まったか、なんのためかについて、文章に書かれた内容を確認しながらおさえさせる。</p>
<p>4 見つけた必要な部分について考えを出し合う。</p>	<p>○ 旧暦や節句という言葉に着目させ、ガイドブックで紹介するのにふさわしい言葉かどうかについても考えさせたい。</p>
<p>【沖縄のつな引き】 ・神様とのつな引き ・旧暦八月十六日 ・神様から実りをもらいうけるねがい 【鳥取のつな引き】 ・子どもたちが主役になるつな引き ・旧暦端午の節句 ・子どもたちが元気にたくましく成長してほしいねがい</p>	<p>【評価】 日時、つな引きの内容、意味（人々のねがい）について抜き出すことができる。（ワークシート）</p>
	<p>○ 人々のねがいについては、児童の中から出なかった場合は、「終わり」の部分の内容「いのりやねがいがこめられている」という言葉に着目させることで、ガイドブックに書く情報として必要であることに気付かせたい。</p>

5 本時の学習のまとめをする。

【必要なこと】

- ・写真や絵
- ・どこで
- ・どんな祭り
- ・いつある
- ・いつから
- ・なんのため

6 学習を振り返り，次時の活動を確認する。

○ 秋田，沖縄，鳥取の3つのつな引きの紹介されている文章で必要な部分について確認する。このことは，お祭り（行事）のようなことについて紹介する場合には，必要となる情報であることをおさえる。

- 児童自身の学習の進め方等について振り返らせる。
- 学習計画から，次時の活動を確認する。

佐賀の楽しい
お祭りガイドブックをつくらう⑤
めあて

名前 ()

秋田のつな引きとくらべてみよう。

秋田	沖繩のつな引き	鳥取のつな引き
どこで		
どんな 祭りが		
いつ あるか		
いつから 始まった か		
なんの ために		

自分のお祭りのしょうかいに入れたいこと



今日の学習をふりかえりましょう。◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

二つのつな引きのしょうかいをくらべることができた。	◎	○	△
何をしょうかいするか考えることができた。	◎	○	△